

件名 **ふれあい・いきいきサロン推進会議** 7月20日(水) 主管 福祉対策部

梅雨も明け夏到来の中、ふれあい・いきいきサロンの各代表者、岩国市社会福祉協議会、岩国市地域包括支援センターの皆さんが集合しました。会議のはじめ愛宕地区社協の村中会長から平素活動への感謝と同時にますます高齢者を支え合う社会に向かっているとお話がありました。

続いて、各16ブロックの代表者のそれぞれの活動報告がありました。それぞれの会独特な内容であり会に出席者する人の人数はさまざまです。出席される人数は数名のところから30名も出席する会など大きな差があるのが現状です。

これらの会に参加されている高齢者は愛宕地区にお住まいの約10%ぐらいではないかと思えます。それもほとんど同じ参加者に固定化されており増えていくより減っていく傾向にあります。主催回数は月1回が多く、中には毎週1回2年も続けている会がありますが、主催する皆さんはあの手この手といろいろ工夫されその努力は本当に敬意を表するところです。出席された皆さんがおしゃべりをし大声を出して笑って帰ることが出来れば会の目的を果たしたと言えるのではないかと思います。ご意見が大勢でした。

本年度も助成金のお知らせ、岩国包括センターより今後の協力体制について、岩国市社会福祉協議会からは地域福祉講座の活用の呼びかけ、新しい事業実施要綱の配布と一部変更の説明（助成金は延べ人数で最高2万円）がありました。

増加していく高齢者に対してのアプローチ（関わり方）については国から自治体にそして地域に対して依存度、期待度は強くなっていくばかりです。

「高齢者の多くは外に出たい、そのことが楽しみなのです・・・」しかしそうは言っても、きっかけがない、声も掛からないなど、どうしてもこもりがちになる傾向にあります。そんな皆さんに対して外に出る機会を作ってあげるよういろいろ試しますが、地域包括センターでは通いなどを計画されております。

活発は愛宕地区のふれあい・いきいきサロン活動ですが、出席者が固定化しているという課題を抱えながら走っているようです。



ふれあい・いきいきサロンの各代表者のみなさん



岩国市地域包括支援センター



岩国市社会福祉協議会